

## 留学レポート No.1 2006/11 月 泌尿器科 畠山真吾

### 「サンディエゴの晴天の下で、異文化と英語に格闘中」

弘前大学・泌尿器科の畠山です。2006/10 月からアメリカ、サンディエゴの**バーナム研究所**に来ております。**ここサンディエゴ**は非常に気候のよいところで、ラボは**ラ・ホヤ**というさらに素敵な立地条件にあります。天気はよくても実際は朝から晩までラボの中で実験しているわけで、あまり関係ないのが残念ですが、青森県からやってくると朝の雪かきをしなくてもいいのは天国のように思えます。日本でいうと南九州の気候から湿気を取り除いた感じに近いと宮崎からの人が言っておりました。

では、まずサンディエゴの紹介から。

#### 1. San Diego ってどこ？



さらに詳しくはグーグルマップ; <http://maps.google.co.jp/maps> から住所 [10901 North Torrey Pines Rd, La Jolla, CA 92037] を入力してください。

#### 2. 基地の街

サンディエゴはファイタータウンとも呼ばれ、映画「トップガン」の舞台になったように、基地の街のようです。今でも**トップガンの舞台となった家**が残っているようです。(まだ見てはいませんが・・・)海軍や海兵隊の基地が数多くあり、アメリカ太平洋艦隊の基地が設置されていて、海岸にいくと軍艦が見えます。また「ジュラシックパーク2」で T-REX が暴れた街でもあります。

#### 3. 国境の街

ここはメキシコとの国境が車で 30 分のところにあります。もともとスペインやメキシコ領であったことから、サンディエゴという地名はもとより、地名や通りの名前にもスペイン語に発するものが数多くあります。文書や説明書きなどもスペイン語でも併記されています。もちろんアジア系の人も多く、中国人、韓国人も多く住んでいるため、中国語の併記はたまに見えますが残念ながら日本語はマイナーなよ

うです。国境をはさんだメキシコ側のティファナへは労働力の安さとアメリカへの輸送性の良さ等を求め日本、韓国、台湾などの企業が工場を設立、駐在員とその家族が、サンディエゴ側に生活しています。

#### 4. ハイテクの街

基地の街として、軍関係の企業が発展していたところへ、現在では、情報通信関連の企業や、パイオ、製薬、医療機器の企業などが集結しています。世界的に有名なスクリプス研究所 ([http://www.scripps.edu/e\\_index.html](http://www.scripps.edu/e_index.html))、およびソーク研究所があり、また、カリフォルニア大学サンディエゴ校(UCSD: <http://www.ucsd.edu/>) やサンディエゴ州立大学(SDSU) などとの産学協同もあり、こういった研究機関などで多くの日本人が研究・留学しています。実際、UCSDには数多くの日本人留学生がおり、来た当初は(いまもそうですが)いろいろと助けてもらったりして大変お世話になっています。

#### 5. America's Finest City

常夏の楽園ではないのですが、過ごし易い気候、海あり・山あり・砂漠ありの豊かな自然、それを生かした様々なレジャー、大都市としての利便性、人口のわりには田舎風の土地柄など、人々を様々な観点から惹きつけてやまない魅力ある雰囲気、America's Finest City たる所以となっています。



近くの Vons(スーパーマーケット)からの夕日

#### 6. MLB と NFL

サンディエゴパドレス(MLB)とサンディエゴ・チャージャーズ(NFL)の本拠地があります。

[http://sandiego.padres.mlb.com/NASApp/mlb/index.jsp?c\\_id=sd](http://sandiego.padres.mlb.com/NASApp/mlb/index.jsp?c_id=sd)

<http://www.chargers.com/>

さて、長々とした前置きになってしまいましたが、こっちに来て 2 ヶ月が経ちました。来た当初は全然聞き取れない英語力に己の無力を知り、アパートがなかなか見つからず途方に暮れ、4 ヶ月の子連れでホテルを点々とした結果、妻がダウンして病院に行ったり、やっと入れたアパートでも天井からの水漏れ事件が起きたり・・・などなど数々のアクシデントに遭遇しましたが、車の運転や生活にも慣れ、徐々に平和な毎日過ごしつつあります。砂漠気候なので朝晩は少し冷え込むのですが、東北出身の私としては雪かきのない冬を迎える喜びもあり、毎日晴天の続くここサンディエゴはホントにいいところだなあ、とつくづく思います。



水害のアクシデント。こっちはよくあるらしいのですが、入居後わずか 10 日で起こりました。  
おかげでいろいろ覚えることができました。くやしいけど、いい思い出です。

さて、研究の方は、前立腺癌の局所浸潤や精子の運動等について取り組んでいます。これは私の学位論文の続きの仕事であり、すでに日本でやり始めていたことの続きをやっています。日本では臨床の傍ら実験室で免疫染色するくらいしか出来ませんでした。こちらでは実験中に病棟から呼ばれることもなく、設備もスタッフも十分に整っているし、しかも分からない時は研究室の日本人スタッフに日本語で質問できる環境にあるので(なので英語がなかなか覚えられないのですが・・・)、とても仕事のしやすい環境と思います。しかし、まだ来たばかりでそんなに簡単に結果も出るわけもなく、素敵な青空を尻目に、試行錯誤を繰り返しながら地道に実験三昧です。帰るまでには(2 年間の予定)論文になれば幸いなのですが、誰も結果の知らないことばかりのトライ&エラーですので、さてどうなるのか、神様にお祈りする日々です。恐らくあつという間の 2 年間とは思いますが、自分なりに精一杯やれば何かしらの成果は得られるのではないかと淡い期待を抱きつつ仕事をしております。



研究室のメンバーです

ドノバンズ・ステーキハウス(アメリカでは有名なお店らしいです)に行ってきました。

<http://www.donovanssteakhouse.com/>



ステーキ 16oz = 454g デカイです。オニオンリング = 鬼オンリングです。某カード会社風にいうと、

- アメリカで食べたステーキ; \$36、
- オニオンリング; \$6、
- チップ; 15%、
- そこまでの道のり; プライスレス、といった感じでしょうか？



うむむ…手ごわい。食べ切れませんでした。

最後になりますが、青森県を襲う厳しい豪雪(?)と医師不足の中、私を派遣してくれた大学と当科スタッフの皆に心から感謝したいと思います。とにかく「格闘」、という言葉が良く当てはまる毎日で、当たって砕けてションボリして…、といった日々です。何もかも慣れるには半年はかかるつもりでないと気持ちを持ちません。何も知らず渡米し、予想もなかった数々の苦勞とそれを支えてくれた家族やこちらの親切な方々との出会いを思えば、まだ2ヶ月ですがもう既にいい経験をさせてもらったとつくづく感謝しております。当科も移植もどんどん症例が増えてきているようですし、冬に向け前立腺癌シーズンも始まり本当に大変かとは思いますが、私も大きく成長して帰るはず(心も体も?そして英語力も…?)と心に誓って、第1報とさせていただきます。

また、頃合を見て追加レポートします。では。泌尿器科 畠山真吾